

オンライン講座 世界遺産を旅する科

テーマ : 「日本の文化遺産」 京都会場対面授業

日時 : 2022年 5月 20日

講師 : 中村 大輔 先生

当日参加受講生: 8名 Zoom 参加: 9名 (在籍20名) 再視聴あり

通常は Zoom によるオンライン講座ですが、第2回目は「京都市文化財建造物研修センター」に受講生の皆様に来ていただいて、先生との対面授業と Zoom での授業になりました。早朝だったせいか何年かぶりに通勤電車に乗り、久しぶりの京都に行きました。(右 京都河原町駅にて)



「日本の文化遺産」

○北海道・北東北の縄文遺跡群 登録基準:(iii)・(v)

北海道、青森、秋田、岩手にまたがる、縄文時代の人々の姿を示す考古学的遺跡。なかでも三内丸山遺跡は、堅穴式住居など多数の建築物の跡が発掘された。

○百舌鳥・古市古墳 登録基準:(iii)・(iv)

百舌鳥エリアにある「仁徳天皇陵古墳」や古市エリアにある「応神天皇陵古墳」など 45 件 49 基の大小様々な古墳で構成されている。古墳時代の個人の権力の大きさや社会的な権力の構成などを証明している。

○「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 登録基準:(ii)・(iii)

沖ノ島では海の航海の安全を祈る祭祀が行われ、交易の証拠と祭祀の跡が残されている。沖ノ島に対する自然崇拝から宗像三女神に対する信仰が生まれ、現在の宗像大社信仰へとつながった。祭祀を実施した宗像氏ゆかりの古墳群も登録された。

○法隆寺地域の仏教建造物群 登録基準:(i)・(ii)・(iv)・(vi)

法隆寺、法起寺とも厩戸王(聖徳太子)ゆかりの寺。飛鳥時代は大陸の影響を受けながらも、日本の仏教文化が独自に発展した。

○古都奈良の文化財 登録基準:(ii)・(iii)・(iv)・(vi)

「平城京」として 710 年から 784 年まで日本の首都であり天平文化が花開いた。聖武天皇が盧舎那仏(大仏)建立を命じた東大寺など、8資産が登録されている。(上 受講風景)



○古都京都の文化財 登録基準:(ii)・(iv)

794 年の平安京遷都以来、1000 年近く日本の首都であり文化の中心であり続けている。17の構成遺産が世界遺産登録されている。



講座終了後: 京都市文化財建造物研修センター前にて



中村先生を交えての昼食

(担当 千種)